



うすい
雨水（18日）… 池の横のコブシのつぼみがふくらみ始めます …

雨水は、空から降るものが雪から雨に変わり、氷や雪が解け始める頃のことです。山に降った雪がゆっくりと解けて、田畑を潤すため、この時期に農耕を始める時期の目安とされてきたようです。幼稚園の畑で育てた冬野菜もそろそろ収穫してみようとしています。

<草木萌動 そうもく めばえ いずる 2月28日~3月4日>

雨水の末候は「草木萌動」です。草木が芽を吹き始める頃です。弥生は「いやおい」で、「弥」にはいよいよ、ますますという意味があり、3月は草木が生い茂る季節です。

<ハッピーニュースです>

年長組には身近な自然への関心が高い子が多く、私にとっても仲間が増えてうれしい限りです。裏庭に土工場を一緒に作った子たちの中でも、特に自然好きな何人かの子は、毎日のように春を探しに出掛けては、「園長先生！ハッピーニュースです。いちごの花が咲いていました」などと教えに来てくれます。私もほぼ毎日園庭を回っているのですが、いちごの花は見逃していました。時折、子どもたちに誘われて一緒に春を探しに行くのが最近の楽しみになっています。

<桃もきれいに咲いて、ひな祭りを祝いました>

裏庭の池の左奥には、桃の木があり、今年は特にきれいにピンクの花が咲いています。3月3日はその桃の節句、ひな祭りです。遊戯室のお雛様を見て感じた思いを基に、学年ごとの先行経験に合ったお雛様を作りました。糊やハサミ、箱や紙などを使ってイメージを形にする活動は、幼稚園における遊びの中核となるものです。年少組は作りやすくてかわいい折り紙、年中組は紙管に千代紙を巻いて立体のかわいいお雛様ができました。年長組は、誕生会で様々な折り紙を作ってきた経験の集大成として、やや複雑な折り紙のお雛様です。凝り始めて5段まで作った意欲的な子もいました。



自然大好き、春を探し隊の年長児



いちごの苗に白い花が咲き始めました



築山の沈丁花も咲き、香り始めました



年少組は作りやすくてかわいいお雛様



年中組は紙管を使って立体のお雛様



道路脇のあんずが満開、実りに期待大



年長は折り紙の集大成として



5段飾りの大作が完成して大満足！



裏庭の桃は特にきれいなピンクに